

# Access Report

2018年 11月 15日号  
アクセス教育情報センター

## 目次

学校情報	教育情報	教育情報	その他	その他
・小野学園 ・中村中高 ・山脇学園	・こう変わる！ ・定員割れ私立大 ・灘中学・高校	・午前5時限制 ・大学入試新テスト	・名言・迷言・冥言 ・生まれ月 ・対中国ODA	・ペッパー君 ・公開座談会 灘・慶応普通部

## 学校情報

### 小野学園女子 2020年度より共学に

(学校配布文書より)

小野学園女子中学・高等学校の学校改革についてのお知らせ

日頃は、本学園の教育に多大なるご理解とご協力いただきまして、ありがとうございます。  
本学園は、1932年、小野安之助・進子両先生によって創立され、以来86年にわたって、女子生徒の教育に邁進してまいりました。この間、社会において女性が活躍できることを目標にさまざまな教育活動を行って参りました。その結果、大勢の有為な人材を世の中に送り出し、社会に貢献してきたと自負しています。これも本学園の教育にご理解・ご協力いただいた先生方のおかげと重ねて御礼申し上げます。

しかし、近年の社会はグローバルに、また加速度的に変化しており、教育の世界も日々変化や変革の必要性に迫られています。世の中には「決して変えてはいけないもの」が存在するとは思いますが、一方でたゆまぬ変化の波を避けては通れないというのも事実であります。こうした状況を踏まえ、本学園が教育機関として引き続きその社会的役割を果たすとともに、時代の要請に応えることができる有為な人材を送り出し続けることを強く願い、以下のような改革に着手することとしました。今回の改革は、本学園の新しい姿を創り、その存在意義を社会に問う大きな改革となります。先生方に置かれましても、本改革の趣旨をご理解いただき、今後とも変わらぬご協力、ご支援を賜りま

すようお願い申し上げます。

なお今回の発表は、受験生・保護者及び塾関係者の混乱や誤解を回避することを目的に行われるものであり、現段階では「予定」としてのお知らせであり、詳細に関しましては、改めて来春、ご説明の機会を設けさせていただきます。また本校説明会等に参加された受験生には、お知らせを郵送しておりますが、受験生には周知のほどよろしく願いいたします。

記

1. 2020年度入学生より、小野学園女子中学・高等学校を「男女共学」校とする。
2. 難関大学合格者を大幅に増やすことを目標とした進学重視校とする
3. グローバル社会、AI社会を前提にした学習を行うとともに学習形態を一新する。
4. 校名、校訓、教育方針、校歌、制服、校則などを変更する。

以上

<http://onogakuen-jyoshi.jp/index.html>

## 中村中高 2020年より高等学校「普通科」募集再開のお知らせ

(学校配布文書より)

教育関係者の皆さま

秋の装いをまとい始めた清澄の森が美しい季節になりました。皆さまにはご健勝のことと拝察いたします。さて、本校では、高等学校普通科に関して、2020年度入試より公立中学生、私立中学生及び帰国生を対象に募集をさせていただくことにいたしました。2009年度入試より本校の事情で高校募集を停止させていただきご迷惑をおかけしましたが、ご存じの通り、現中学2年生は在籍43名、現中学1年生は在籍30名で定員を下回っている状況です。より多様な生徒との協働とさまざまな価値観との触れ合いを提供することが、「内部進学生」にとっても「高校入学生」にとっても、新しい発見と気づきを生み出すものと信じ、普通科の募集を再開させていただきます。

本校は創立以来109年間、建学の精神のもと、江東の地で「女子教育」を追求してまいりました。建学の理念は「機に応じて活動すべき教育ある女性の育成」です。これからも女子校であることに変わりはありません。また、「内部進学生」の中高6か年一貫教育には変更はございません。

なお、国際科については昨年度より募集を開始しておりますので、ご確認いただければと存じます。

急なお知らせとなり大変恐縮ですが、是非、多大なお力添えをいただきたく、衷心よりお願い申し上げます。また、中村中学校受験希望者にはホームページ、学校説明会等を通じてお知らせいたしますが、皆さまからもお知らせいただけると幸いです。

普通科募集の詳細につきましては確定後速やかに、まず皆さまにお知らせいたします。

末筆ながら、皆さまのますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

記

1. 募集科 中村高等学校普通科
2. 募集対象 2020年度入試より(現中学2年生の高校受験時より)

3. 募集定員 102名(中村中学校からの入学者を含む)
4. 入試時期 帰国生入試:2019年11月(予定)  
推薦入試 :2020年 1月  
一般入試 :2020年 2月

<https://www.nakamura.ed.jp/>

## 山脇学園 塾対象説明会

### 3)入試について

#### 1. 2019年度入試について

午後入試導入:4科型一般入試の応募者が大幅に減った。4科型一般入試の募集人数を減らし、合格者のレベルを上げたい。

午後入試で期待する入学者

国語…国語が好きで、言語能力の高い人

算数…算数が好きで、理系に興味のある人

午後入試の概要

国語受験者から20名、算数受験者から20名の入学者を期待  
受験者数により、案分することがある。

2月1日(金) 15:00集合

試験時間60分 15:15開始、16:15終了

検定料15,000円(ただし併願割引の割引対象外)

英検による考慮なし(合格証等の提出なし)

一般入試について

募集定員40名減

A試100名→90名、B入試100名→80名、C入試40名→30名

入試日、入試科目、試験時間、配点等は変更なし

合否の判定は、4科の合計点で行う。教科による基準点なし

英語入試について

英語の独自試験を廃止し、外部試験の結果で判定

出願資格は、英検3級相当以上の有資格者

募集人員は、帰国生入試と合わせて40名

合否の判定方法

英検の取得級ごとに、国語と算数の合計点で合否を決める。

合格ラインのめやす

英検3級…国算50%程度

英検準2級…国算45%程度

英検2級…国算40%程度

### 複数回受験の方への優遇措置

各回の入試の合格判定は、その入試の点数のみで行う。

各回の入試ごとに、繰り上げ合格ゾーンを設定する。

そのゾーンに複数回入っている方を優先して繰り上げる。

午後入試についても複数回受験の対象となる。

繰り上げ合格者のほとんどが、複数回受験の方になっている。

### 帰国生入試について

受験資格は「帰国後3年以内」を順守。英検2級以上なら、英語の試験を免除

### 可否の判定方法

英語の試験を受験された方はその点数によって、英語の試験を免除された方は英検の取得級によって、グレード分け。そのグレードごとに、国語と算数の合計点によって可否の判断をする。グレードが高くなるにしたがって、国語と算数の合計点による合格ラインは、下がっていくことになる。

### 合格ラインのめやす

英検3級…国算55%程度

英検準2級…国算50%程度

英検2級…国算45%程度

英検準1級…国算35%程度

## 2. 2019年度入試の出題方針

### 国語

#### 一般入試の出題方針

日本語の基本的な知識や、文脈や場面に応じた言葉の運用能力を問う問題を出題します。

中学・高校での国語の授業で必要となる論理的思考力のベースとなる読解力や表現力を問います。

#### 大問構成

〈一〉読解問題(説明的文章)

〈二〉読解問題(物語的文章)

〈三〉総合問題(短い説明的文章の読解＋意見論述型問題)

〈四〉知識問題

〈一〉・〈二〉文章読解問題では

・漢字や語句の意味などの単純な知識問題は出題しません。

・論理的読解力や思考力を問う問題を中心に出题します。

#### 主な出題内容

・論理構成や文脈の把握(接続語の空欄補充など)

・本文の内容の言い換えや要約

・抽象的な考え⇔具体的な置き換え

・登場人物の心情

・論理展開や場面ごとの心情変化

・本文全体をふまえた筆者の主張や本文全体の主題→例年、大きく差がつくのはこのタイプの選択問題です。

・本文全体の表現の特徴

※記述問題では指定字数の88に満たない場合は減点となります。

※文末表現(「～こと。」「～から。」)の不備は減点となります。

〈三〉総合問題では

・短い説明的文章の内容読解問題

・説明的文章の本文中における漢字や語句などの知識問題

・意見論述型問題

出題例

・本文で書かれていることの具体例を自分で考えなさい。

・本文で書かれている問題の解決策を自分で考えなさい。

・本文で書かれている問題についてのあなた自身の意見を述べなさい。

※応用力や発想力を問う問題です。

※配点は文章題の記述問題と同じ程度です。

※答案の内容に応じて、部分点を与えています。

〈四〉知識問題では

・漢字や語句、文法などの知識問題

※漢字の書き取り問題や読みの問題は、小学校で習う1006字の中から出題します。

※漢字の書き取り問題ではトメ・ハネのいい加減なものや、2画で書くべきところを1画で書いているものは、減点の対象となります。

午後入試の出題方針

・中学高校の国語の授業で必要となる論理的思考力のベースとなる読解力や表現力をといます。

一般入試と異なる点

・読解問題のみで知識問題は出題しません。

・本文の文章量が一般入試よりも長めです。

・記述の長さが一般入試よりも長めです。

・意見論述型問題は出題しません。

・試験時間は一般入試よりも長い60分です。

大問構成

〈一〉読解問題(説明的文章)

〈二〉読解問題(物語的文章)

※漢字の書き取りなどの単純な知識問題は出題しません。

※一般入試の〈三〉で出題しているような意見論述型問題は出題しません。

※設問の数やバランスについては、サンプル問題をご参照ください。

算数

一般入試の出題方針

基本的知識と応用力を問う問題を出題する。

具体的な作問の方針

問題1: 基本レベル8問程度(答えのみ書いてもらう)

問題2: 基本～標準レベル2問程度(答えのみ書いてもらう)

問題3: 基本～標準レベル

問題4と5: 標準～応用レベルの問題を出題

※問題3～5は、求め方も書いてもらう。

採点基準と配点

- ・全体の配点の割合は、基本レベル3割、標準レベル3割、応用レベル4割
- ・答えのみ書く問題では、部分点はない。
- ・求め方を書く問題では、考え方が合っていれば加点

受験生へのアドバイス

- ・まんべんなくどの分野も学習する。(割合や速さに関する問題、求積問題は特にしっかりと)
- ・計算ミスや単位の換算ミスに注意。
- ・普段から途中の式を書く習慣をつける。

午後入試の出題方針

一般入試と求めるものは変わらない。

具体的な作問の方針

- ・幅広い分野から20～25問程度出題
- ・すべて答えのみ書いてもらう形式
- ・100点満点で、ほぼ均等に配点する予定

社会

出題方針

- ・入学後に社会科を学んでいくときに知ってほしい、基本的な知識を確認します。
- ・新聞の一面で取り上げるような出来事をはじめ、日本や世界の諸事象に関心を向けているかどうかを試す問題も、時事問題として出題します。
- ・出来事の原因、背景や制度の趣旨に目を向けるという、社会科を学ぶときに必要な力も測定します。

具体的な作問の方針

- ・知識に関する問題は、中学受験用の問題集に出ている頻出事項を中心に出题します。
- ・すべての問題に目を通すことができるように、時間に余裕をもって読める長さの問題文を目指して作成しています。
- ・問題1: 地理、問題2: 歴史、問題3: 公民の順に配列。
- ・空欄に入る用語を答える問題、下線部の語句について答える問題という形式がほとんどです。1行程度の文章で答える問題も3～6問出題します。
- ・地形図、グラフ、年表などから読み取る問題も出題します。
- ・内容に関しては、基本的な用語や年号を確認する問題がほとんどです。



・時事問題を直接的に問う問題は地理や公民で出題します。

解答を進める上でのアドバイス

・問題1から解く必要はありません。普段の学習で得意としている分野から解くようにアドバイスしてあげてください。

・難易度順に配列してあるわけではありませんので、わからない小問はとばしてすべての問題に取り組むことを目標にするよう、ご指導ください。

採点基準と配点

・配点は歴史に重点を置きます。

・漢字で答えるように指定してある問題にひらがな、カタカナで答えた場合は、不正解とします。

・短い文章で答える問題では、中心となる用語の誤記は減点しますが、それ以外の言葉はひらがなで書いてあっても減点しません。例えば、『〔 ① 〕権』という空欄に解答する際に、『〔行政権〕権』と言葉を重複して解答してしまった場合は減点します。

理科

出題方針

・本校に入学後、理科を学んでいくときに必要な知識と論理的思考力を問います。

・理科を学ぶ楽しさを伝え、科学的思考力を育てるような問題を作成します。

具体的な作問の方針

・知識に関する問題は、中学受験用の問題集に出ている頻出事項を中心に出题します。

・論理的思考力は、日常生活や自然の中の体験や実験などを題材として、科学的知識を当てはめて考える形で問います。

・与えられた条件を分析し、データを処理して導いた答えを記述する形式で問います。

・大問は全部で4題です。大問は易しい問題から難しい問題という順に配列して受験生の学力を測定します。

・物理分野、化学分野、生物分野、地学分野を偏りなく出題することで理科の学力を総合的に測定します。

解答を進める上でのアドバイス

・問題1から解いていくことがよいでしょう。

・問題2、3の小問で行き詰ったときはこだわりすぎずに次の問題に移った方が良いでしょう。

・問題4は、生活の中で身近にある事柄を小問を解きながら科学的に解明していく問題です。しっかりと問題文を読んで、筋道を立てて考えていきましょう。

採点基準と配点

・漢字という指定がない限り、ひらがなで答えても、単独の問題としては減点しませんが、答案全体としてひらがなが目立って多い場合は減点します。また明らかな誤字は減点の対象となります。

・単位をつけて答えなさいという設問に対して単位をつけ忘れた解答は減点の対象となります。

・大問1、2に20～25点、大問3、4に35～40点の配点とします。

(報告 G. Wa)

<https://www.yamawaki.ed.jp>